

## 商業「情報処理」各項目の評価規準

指導項目(大項目)	小項目	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)企業活動と情報処理	ア 情報処理の重要性 イ コミュニケーションと情報デザイン ウ 情報モラル	企業における情報の管理と活用について情報社会における事例と関連づけて理解している。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案している。	情報技術の進歩や情報が社会に及ぼす影響について自ら学び、考察や討論を主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
(2)コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	ア コンピュータシステムと情報通信ネットワーク イ 情報通信ネットワークの仕組みと構成 ウ 情報通信ネットワークの活用 エ 情報セキュリティの確保と法規	コンピュータの基本的な機能と構成及び情報セキュリティに関する法規の概要について理解している。	情報社会に関する課題を発見し、情報セキュリティに関する法規に基づいて課題への対応策を考案している。	コンピュータの基本的な機能と構成、情報セキュリティに関する法規について自ら学び、情報社会に関する事例などを踏まえ、情報社会に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
(3)情報の集計と分析	ア ビジネスと統計 イ 表・グラフの作成と情報の分析 ウ 問題の発見と解決の方法	表計算ソフトウェアの各種関数や機能を活用し、分析した結果を表現する技術を身につけるとともに、プログラミングの基礎的な技法を理解している。	表計算ソフトウェアを活用・分析および、モデル化などのプログラミングの基礎的な技法を用いた問題の発見と解決ができる。	表計算ソフトウェアおよびプログラミングを実践的・体験的な活動を通して、自ら学び、企業活動の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
(4)情報セキュリティの確保と法規	ア 文章の表現 イ ビジネス文書の種類と作成	ビジネス文書を作成するために必要な文章の表現を理解するとともに、関連する作成技術を身に付けている。	ビジネス文書を作成するために必要な文書の表現ができる。	ビジネス文書作成を実践的・体験的な活動を通して、自ら学び、企業活動の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
(5)プレゼンテーション	ア プレゼンテーションの技法 イ ビジネスにおけるプレゼンテーション	プレゼンテーションを行う際の話し方や進め方を理解しているとともに、効果的に活用する技術を身に付けている。	プレゼンテーションの技法を用い、効果的にプレゼンテーションを行うことができる。	プレゼンテーションを実践的・体験的な活動を通して、自ら学び、企業活動の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。